

令和4年度 大分県高等学校新人柔道大会実施における
新型コロナウイルス感染症拡大防止等に関する基本方針
～具体的な感染拡大防止対策～

1. 大会日程について

2日間とも YouTube ライブ配信を行う

1) 日程

大会第1日：令和4年10月22日（土） 10時15分 男女団体試合
14時 終了予定
大会第2日：令和4年10月23日（日） 10時00分 男女個人試合
15時30分 終了予定

2) 計量

令和4年10月22日（土）団体試合終了時から1時間以内

【決められた時間内であれば合格するまで何度でも実施可能。】

※特別計量願の提出があった選手には10月23日(日)の計量を認める。

【男子】実施場所： 「道場2」指定場所

【女子】実施場所： 多目的競技場奥の女子更衣室

※計量が終了した選手は直ちに退館すること。

3) 監督・審判会議

令和4年10月22日（土） 9時30分 道場2

2. 入場制限について

1) 2日間とも 試合にエントリーされている生徒の保護者（各家庭一人）の 22日 97名
入場を許可する。（必ず提出用健康チェック一覧表に氏名の記載があること。） 23日 133名

2) 入場を認める参加者

①選手 団体試合においては、エントリー以外も入場可。 133名
個人試合においてはエントリー選手以外は入れない。 133名

②出場校引率責任者・監督 各1名

③外部指導者（許可証提示して入場） 男子選手の指導者1名・女子選手の指導者1名まで。

3) 入場を認める関係者

①各学校代表（校長・教頭・事務長・主幹教諭） ※校長は本部参与席に、教頭・事務長・主幹

②各学校の写真業者と新聞部員・写真部員 教諭は観客席にお座りください。

③各社報道関係者

3. 健康チェック表等の提出及び検温の実施

1) 生徒の参加同意書と体調管理シートを学校長に提出し学校保管とする。

2) 提出用健康チェック一覧の提出

すべての参加者は入場時（受付）に監督より「提出用健康チェック一覧表」を提出の事。

※名簿順に並んで入場すること

2日目の打合せ会においても「提出用健康チェック一覧表コピー」を提出の事。

3) 検温の実施 外部審判員・入場を認められた関係者は受付にて検温を実施する。

4) 参加の取りやめ

「提出用健康チェック一覧」の提出に不備がある場合、また、記載内容に問題がある場合、検温にて異常が認められた場合（37.5度以上）は、大会実行委員会の判断により大会への参加を認めない。

4. 参加者の入場（受付）及び試合前の練習について

1) 入場（受付）

①参加者の入場（受付）は、原則各学校まとまって名簿順に行うこと。

②ただし、体調不良者の救済処置として、2日間ともに9:30までに陰性証明が提出されれば、個別の入場を認める。

2) 選手の更衣場所

男子は「道場2」の決められたエリアで更衣し、荷物は各学校まとめて置く。

女子は多目的競技場奥の女子更衣室にて更衣し、荷物は各学校まとめて「道場2」に置く。

3) 待機場所

入場後、試合終了後の待機場所は「道場2」の決められたエリアで待機すること。

試合のない選手は「道場3」には立ち入れない。

5. マスクの着用について

1) すべての参加者（選手・監督・引率責任者・外部指導者）及び大会関係者、保護者に常時マスクの着用を義務付ける。ただし、試合を行う選手については、これを除外する。

2) 団体試合で最初の礼においても、マスクを着用して整列すること。

6. 手指消毒の徹底について

1) 会場に入場するときには必ず手指消毒を行うこと。トイレからの再入場の際も同じである。

2) 試合前後の消毒

①試合をする選手は試合前後に必ず手指消毒を行うこと。

7. 身体的距離の確保等について

身体的距離を確保して感染防止に配慮するとともに、参加者には適時適切な身体的距離を確保し、行動するように強く依頼する。

8. 感染拡大防止のための選手・監督・1、2年生保護者の行動について

1) 試合前

①選手の試合場への入場は、団体戦は次の試合チームのみ、個人戦は自身の試合の3試合前から試合場（道場3）の待機場所に入ること。

②審判員より目視で柔道衣コントロールを受けること。

2) 試合中

①選手には大きな発声をしないように自粛を求める。

②会場内において、大きな声での会話や応援等をしないこととする。特に試合中の監督による大声での指示や指導は大会申し合わせ事項により、禁止とする。

3) 試合後

①試合終了後は速やかに「道場3」からの退場を求める。ミーティング等は蜜をさけて会場外で

実施すること。

②帰宅後はすぐにシャワー等を浴び、柔道衣・衣服の洗濯、用具の消毒等の実施を奨励する。

4) 1、2年生保護者

①会場内では必ずマスクを着用し、適宜手指消毒を行うこと。

②声による一切の応援や会話はしないこと。

③道場2（選手待機場所）への立ち入りは禁止とする。

9. 開会式・閉会式について

1) 団体試合

①開会式は各学校エントリー選手のみ参加で「道場2」「道場3」に間隔を取って着座し簡易に行う。

②閉会式は優勝校のみ表彰し、その他は監督に賞状等を渡すこととする。

2) 個人試合

①開会式は「道場2」「道場3」に間隔を取って着座し簡易に行う。

②閉会式は優勝者のみ表彰し、その他は監督に賞状等を渡すこととする。

10. 柔道衣コントロールについて

1) 柔道衣コントロール

選手を全員集合させて一斉には行わず、各試合前に待機場所にて、審判員が目視で確認を行う。

なお、疑義が生じた場合は各試合場において審判員が測定器具を用いて検査を行う。規格に不適合と判断された場合は、「失格」となることを理解の上、選手・監督は責任をもって規格に適合しているか、事前に確認すること。

2) 赤白帯

組み合わせの赤白を示す赤白の帯について、各自が赤白それぞれの帯を持参することを義務付ける。なお、感染防止の観点から、大会本部では準備しない。

11. 感染防止対策の周知徹底について

1) 大会参加者（選手・監督・引率責任者・外部指導者等）

①大会本部より、事前に出場校あてに基本方針及び具体的な感染拡大防止対策を送付し、大会参加者に周知徹底するよう指導を依頼する。

②大会当日の審判・監督会議においても周知徹底するよう指導を依頼する。

2) 大会役員（審判員・競技役員等）

①審判員・競技役員等には事前に基本方針及び具体的な感染拡大防止対策を送付し周知徹底するよう依頼する。

12. その他

1) 会場内での水分補給以外の飲食は禁止とする。水分補給は観客席のみ認める。その際は、周囲の人となるべく距離をとり、対面を避け会話を控えるとともに、飲料については紙コップ等を使用し、共用はしないことを呼びかける。

2) タオルの共用はしないことを呼びかける。

3) 各自が責任をもって、ゴミの持ち帰りをを行うことを呼びかける。